

News Number | Post  
Letter 15 | Conference  
Special Issue | Report



## **Twelfth International Conference on Flow Dynamics, ICFD2015**



**The Eleventh International Students / Young Birds Seminar  
on Multi-scale Flow Dynamics**

**October 27 – 29, 2015  
Sendai International Center, Sendai, Japan**

# ICFD: 国際的若手研究者育成の場

2015年10月27日から29日にかけて仙台国際センターにおいて、Twelfth International Conference on Flow Dynamics 「第12回流動ダイナミクスに関する国際会議」が開催され、19か国から711名（外国人243名）の方々が参加し、533件の発表がありました。学生の参加者数は、374名で、学外からの学生参加者数は178名でした。

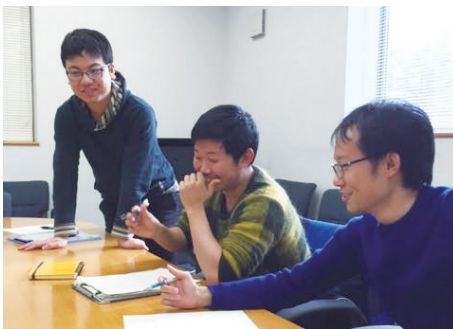
## 「国際的若手研究者育成の場」

ICFDに参加し、発表し、活発に議論を行い、自身の研究分野だけでなく、他分野の発表を聴講することで、また新たな側面を発見し、刺激を受け、また一年間研究に邁進する。良い流れが定着してきた学生セッション。「国際的若手研究者育成の場」として、ICFDの中でも中心的なセッションにまで成長した学生セッションですが、今年は、数年ぶりに日韓学生シンポジウムも一セッションとして同時開催し、さらに活気ある会議となりました。



## 学生オーガナイザー

10月27日から28日の2日間にわたり、学生が主体となって行われた学生セッション。今回は、博士課程の古川琢磨氏、加藤昂大氏、白戸高志氏の3名が学生セッションのオーガナイザーを務め、論文のフォーマットチェック、プログラムの作成、校正、Students / Young Birds Friendship Nightの取りまとめ役等の業務を自主的に企画運営しました。



学生オーガナイザーたち

左：古川 琢磨  
中央：加藤 昂大  
右：白戸 高志

学生オーガナイザーによるコメントは以下のとおりです。

「学生セッションの運営における一番の収穫は、学会運営の裏側を知ることができたことです。

講演論文集の作成やセッションの分類など、学会を無事に進行するために裏方の仕事が必要であることに改めて気付かされました。

当日はセッションの座長や学生賞の表彰なども行いましたが、このような経験を学生中にできたことを光栄に思います。（白戸）」

「今年の2月に学生セッションのオーガナイザーを依頼され、開催までの8か月間は、講演募集から原稿の確認などタイムスリップするかのよう時間が流れ、非常に短い期間だったと感じております。初めてセッションオーガナイザーとして参加する学会は、使命感から前日の夜まで確認作業に追われましたが、無事開催することができ、今までにない高揚感と達成感を味わう良い経験になりました。最後に、学会運営の貴重な機会を頂きましたこと、ことあるごとに進行を助けて頂きましたスーパーバイザーの先生方や事務局の方々に感謝申し上げます。（加藤）」

## フレンドシップナイトを終えて

「本年度のフレンドシップナイトでは例年の2倍の人数の学生の皆さんにご参加頂きました。また日韓ワークショップに参加した学生の皆さんにもご参加いただき、国際色豊かな会となりました。ご参加して頂き本当にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。（古川）」



## 日韓学生シンポジウム

日韓学生シンポジウムは、2000年から東北大学とソウル大学で行われているもので、今年で16回目を迎えました。開催国は毎年交互に持ちまわりで、今年は仙台で行われ、2011年以来に、ICFDの一セッションとして同時開催を行いました。今回は、東北大学の武田未来氏、岡本悠佑氏、ソウル大学のInsang Hwang氏の3名がオーガナイザーを務めました。来年は、韓国で開催予定となっています。

## Best Presentation Award

学生セッションで発表した学生 69 名に対し、教員および参加者が投票をおこない、Best Presentation Award を選出しました。10 月 28 日に行われた ICFD バンケットにおいて表彰式が行われ、共同議長である小原拓教授より、賞状の授与がありました。受賞者は以下の学生 3 名です。



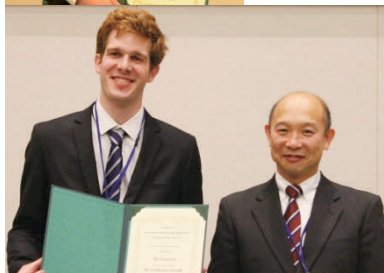
吉川 穰 氏（東北大学 工学研究科 福西研究室 D2）

受賞者の発表で名前を呼ばれた時には自分の受賞を信じられませんでした。時間が経つにつれて喜びを実感できるようになりました。昨年度の国際インターンシップでスウェーデンでの研究生活を体験できたおかげで、今回の発表では英語に臆せず自身の研究内容を語る事ができたと感じています。是非後輩の皆様にも留学のチャンスがあればそれを逃さずに、一歩踏み出してほしいと思います。



高桑 勇太氏（長岡技術科学大学 機械創造工学専攻 山崎研究室 D1）

この度は、Best Award を頂きまして、大変光栄に存じます。ICFD といった国際的な会議で発表する場を頂き、海外の学生と議論を交わすことができたのは自分にとって大きな刺激になりました。ここで得た経験を糧に今後も研究活動に精進していきたいと思います。



Mr. Guillaume Lacaille  
(M2, Maruyama Lab., IFS, Tohoku University)

Participating in this ICFD2015 and receiving the Best Award was a great honor for me. I could discuss and get comments about my research from students, researchers and professors from all around the world and also received very good advice from them. I encourage every student in Tohoku University to participate in the next ICFD in Sendai.



## Friendship Night

参加資格があるのは、学生のみで、教員は不可という「学生の、学生による、学生のためのフレンドシップナイト」。会議初日に行われ、本国際会議に出席した全学生を対象として、大いに盛り上がりました。交流会では懇親を深めるだけでなく、KTH からの参加者からは、KTH の紹介とスウェーデンの紹介、KTH へ短期留学した東北大学の学生からは現地で行った研究についてショートプレゼンを行ってもらい、これらの発表は、参加学生にとって大きな刺激となりました。



## *Thirteenth International Conference on Flow Dynamics (ICFD2016)* 開催のお知らせ

第 13 回流動ダイナミクスに関する国際会議を下記の通り開催致します。  
是非、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

日にち：平成 28 年 10 月 10 日（月）～ 10 月 12 日（水）

場 所：仙台国際センター(仙台市青葉区青葉山無番地 <http://www.aobayama.jp/>)

U R L: <http://www.ifs.tohoku.ac.jp/icfd2016>

ICFD 事務局：東北大学流体科学研究所内 ICFD 事務局（仙台市青葉区片平 2-1-1）

TEL&FAX: 022-217-5301 E-mail: [icfd2016@fmail.ifs.tohoku.ac.jp](mailto:icfd2016@fmail.ifs.tohoku.ac.jp)



## See you at ICFD2016!

東北大学流体科学研究所  
卓越した大学院拠点形成支援  
「流動ダイナミクス知の融合教育研究世界拠点」事務局  
平成 28 年 2 月発行

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1  
東北大学流体科学研究所卓越拠点事務局  
TEL&FAX 022-217-5301